

## 新年度のごあいさつ

会員の皆様、福祉関係者の皆様には、日頃から山形県手をつなぐ育成会の活動にご支援ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、今、私たちは、思いもよらなかった新型コロナウイルス感染症による世界的な規模の健康危機や経済危機に見舞われており、この感染症の蔓延を防止するため、そして、とりわけ感染症に弱い立場の知的しょうがい者を守るため全国手をつなぐ育成会連合会を中心に各地の手をつなぐ育成会において対策に努めてまいりました。

しかしながら、この感染症は、総会や理事会、研修会の開催に影響を及ぼすとともに、県知的しょうがい者福祉大会、知的しょうがい者レクリエーション大会等の諸事業を中止とせざるを得ない状況を引き起こしました。これらのことは大変残念なことでした。

新年度に入った今、山形県においても独自の「緊急事態宣言」が出されるなど、この感染症は、衰えるどころか変異株として拡大の一步を辿り、終息の時を見通せない状況にあります。そのため、今年も、諸会議や諸事業開催の可否や、開催する場合の内容等について慎重に検討する必要に迫られています。

そのような中、コロナへの感染防止対策をしっかりと行い、今は力を蓄えておくことが大事だと思います。そして、活動の停滞を最小限に止めるため、各地域において「新しい生活様式」に基づいた行事の持ち方やオンライン機器、DVDの活用など創意工夫が必要と考えております。

誰もがありのままに生きられる社会の実現に向け、このような時だから、なおのこと皆様との“きずな”を強くして一歩ずつ前進してまいりましょう。